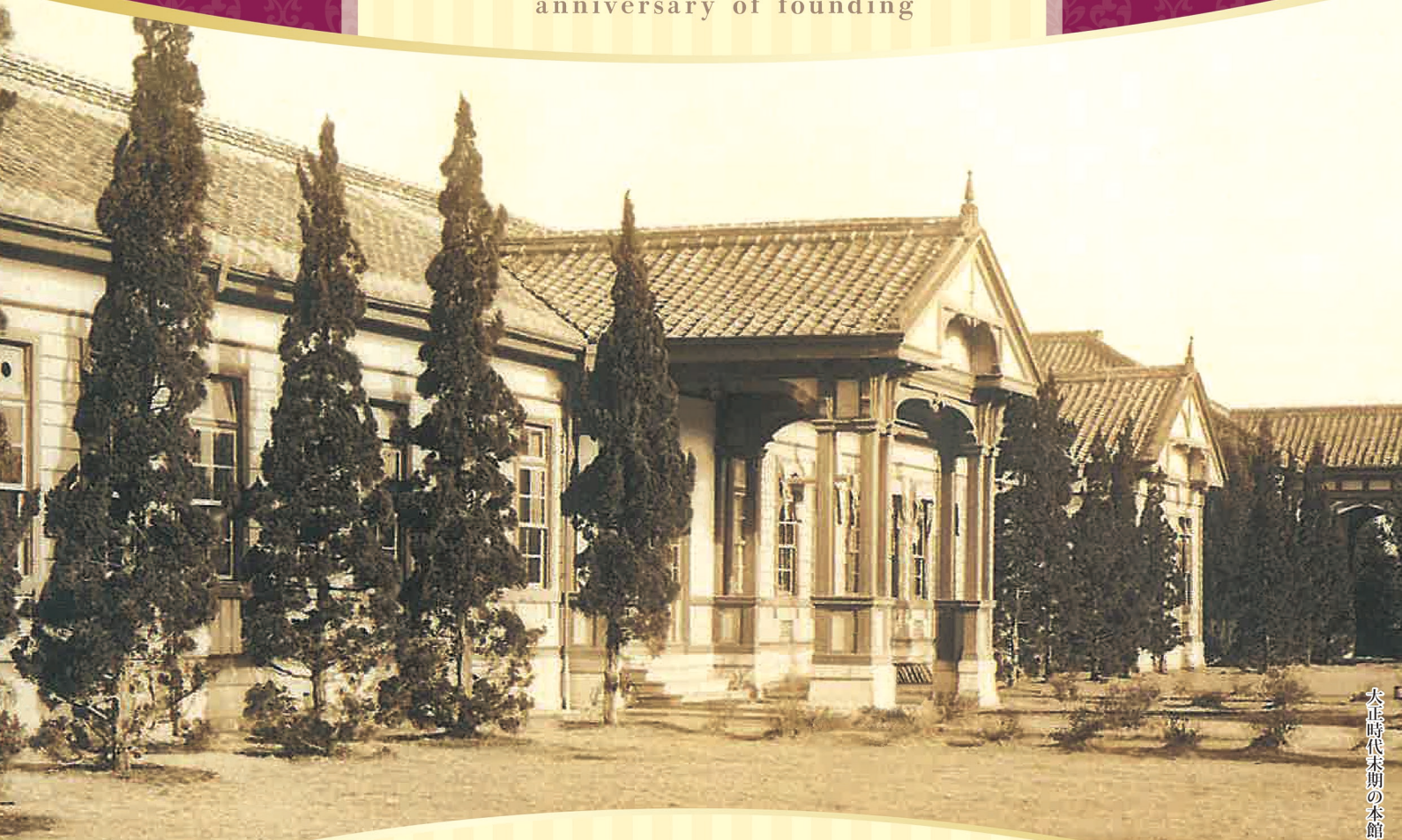




1908 - 2025
117th
anniversary of founding



大正時代末期の本館と前庭

九州芸文館 開館12周年記念展
筑後七国高校美術展

福岡県立 八女高等学校
芸術展

令和7年 7月26日^土 ▶ 8月31日^日
10:00～17:00 (最終日は16:00まで)

休館日: 月曜日 (※8月11日(月・祝)は開館、8月12日(火)は休館)

筑後広域公園 芸術文化交流施設

会場: 九州芸文館 教室工房 1・2

入場
無料

〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL 0942-52-6435

主催: ちくごJR芸術の郷事業団(九州芸文館)
協力: 福岡県立八女高等学校、八女高等学校同窓会

117年の歴史がつなぐ物語
それぞれのルーツがここにある。
人間国宝 松枝玉記氏や文化勲章受章の田崎廣助氏など
八女高校卒業生を中心に、旧職員等の関係者、在校生まで
美術・工芸・書作品を一堂に展示紹介します。

7月26日^土
9:30～
オープニングセレモニー

八女高校書道部
パフォーマンス
開催!

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

◆ 九州芸文館 開館12周年記念展 ◆ 筑後七国高校美術展

福岡県立八女高等学校芸術展

令和7年

7月26日(土) ▶ 8月31日(日)

筑後広域公園 芸術文化交流施設

九州芸文館 教室工房 1・2

10:00~17:00 (最終日は16:00まで)

入場
無料

休館日：月曜日（※8月11日(月・祝)は開館、8月12日(火)は休館いたします。）

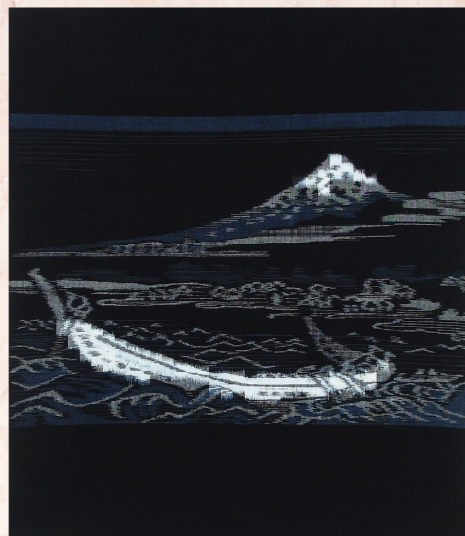
九州芸文館では、この度「福岡県立八女高等学校芸術展」を開催いたします。

九州芸文館は、開館13年目になります。この間、地域の芸術家の発掘や紹介をしてきました。これからは若手作家発掘と育成を兼ねて高校生の作品も紹介していきます。

八女高校は距離的にも隣接し、折に触れ、様々な企画に賛同していただきました。

また、創立以来117年の長い歴史の中で、芸術分野でも素晴らしい人材が輩出されています。今回は、その八女高校に焦点をあて、卒業生や旧職員・校医などとして関わられた方々の作品を中心に在校生まで、美術・工芸・書の作品を一堂に展示します。

どうぞ、八女高校の輝かしい伝統の業績を鑑賞し、将来を期待していただきたいと思います。



九州芸文館

「田子の浦」松枝玉記

久留米絣絵絣



「筑後路B」平井光典

油彩画



「長崎風景」田崎廣助

油彩画



「identifier」田島照久 グラフィック



「サギI」久我敏博

写真



「ベニス風景」樋口善造

油彩画



「バミール高原を行く」小田和典

油彩画



「萌」杉森克彦 彫刻

展
示
予
定
作
家

卒業生

美術

小野正典
杉森克彦
樋口善造

書

中村心豪

家永勝之亮
片山博行
田崎昭作
樋口 保
井上広登
山口八石

池上丁一
久我敏博
田崎廣助
平井光典
落合栖閑

井上 明
久保田展士
田島照久
松枝玉記
藏内勇夫

井上自助
高口秀樹
田島 稔
松枝哲哉
古賀静光

宇美拓哉
木庭密樹
田代喜玖生
三角嘉寿男
齊藤紫香

大倉紀子
齋藤新助
服部高好
元田典利
下川蒼田

小田和典
調 唯法
服部文則
山口 達
隆藤俊海

小田 創
菅 ナオコ
原田筑紫
吉武和美
中村山雨

旧職員

美術

安達弘記

津留誠一

津留法雲

藤吉生二

書

落合不易

松岡宏志

在校生

美術部

書道部

※出品作家・展示作品は諸事情により変わる場合があります。

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

お問合せ ちくごJR芸術の郷事業団
(筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館)
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131
TEL.0942-52-6435 FAX.0942-52-6470
<https://www.kyushu-geibun.jp>



ホームページ



Instagram



交通案内
【JR】九州新幹線「筑後船小屋駅」(博多駅から約25分)より徒歩約1分
鹿兒島本線「筑後船小屋駅」(博多駅から快速で約50分)より徒歩約1分
【西鉄バス】50番(久留米-高良台-羽犬塚-船小屋)「筑後船小屋前」より約1分
【車】九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」より約15分
【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)